

# 事業報告書 団体名：一般社団法人ソーシャルアーティストネットワーク

事業名	新たなパラアート地域交流を提言するコンサート開催 & ドキュメンタリー制作事業
<b>【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】</b>	
<p><b>【事業目的(取組課題)】</b> 麻生区にある障害福祉施設、川崎授産学園・体育館にて、これまでの「奏」(障害の有無に関わらず参加できる、音楽交流サロン「奏」、コンサート「奏」、コーラス「奏」)からの引継ぎイベントと位置付けるべく「コンサート奏 NEXT」の開催、及び、その開催に至るまでの様々な地域の人達(障害の有無に関わらない)の練習や準備などの様子・インタビュー・当日の様様を動画収録・ドキュメンタリーとして編集・奏 HP にアップすることで、地域の皆さんにこれからのパラアート地域交流の形を提言(宣言)・啓発・協力や連携の呼びかけや地域への関心喚起を図ることを目的とする。 また、ネットにアクセス困難な人達を考慮し、同内容のパンフレット(紙媒体)も作成・配布を図る。</p> <p><b>【事業計画】</b></p> <p><b>①コンサート「奏 NEXT」の開催</b> 周辺地域の障害の有無を超えた交流の場としても活用されてきた川崎授産学園・体育館が解体される直前に、これまでの感謝とこれからの地域交流の発展を願って、障害の有無に関わらない地域の出演者・当日参加者によるコンサートを開催する。今後、川崎授産学園以外の会場(金程中学校、金程小学校、千代ヶ丘小学校、麻生高校、麻生老人福祉センター等)での障害・世代・国籍等を超えたパラアート地域交流活動の実施を、地域に提言(宣言)・啓発することを目的とする。</p> <p><b>②ドキュメンタリー動画番組「奏 NEXT」の制作</b> 上記コンサートを開催するまでの練習・準備の様子や、参加者へのインタビュー、コンサート当日の様様を動画に収め、編集し、ドキュメンタリー番組として制作した動画をネット配信する。</p> <p><b>③パンフレット「奏 NEXT」の制作</b> ネット閲覧をしない・困難な方に向けた、上記内容を込めた、紙媒体での啓発パンフレットを制作する。</p> <p><b>【実施効果】</b> 本コンサートをきっかけに、これまで弊団が進めてきた以下のパラアート地域交流の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・音楽交流サロン「奏」(平日開催の音楽によるパラアート地域交流)</li><li>・コンサート「奏」(休日開催のパラアート地域交流)</li><li>・コーラスサークル(障害の有無に関わらず参加できる合唱団)</li><li>・ミュージックバルワークショップ(重度の障害を持っていても一緒に演奏参加できる)</li><li>・共同作品制作ワークショップ</li><li>・絵画ワークショップ</li><li>・ソーシャルアーティスト &amp; パラアートコーディネーター講座</li></ul> <p>を通じて、携わってこられた様々な方々の生の声をも含めて、ドキュメンタリー動画としてご紹介させていただくことで、地域の皆様への認知・関心・理解を高めつつ、今後の各地・各所でのパラアート地域交流機会(開催)の検討の具体的な参考材料となり、その開催に結びつけることが期待できる。</p>	

## 【実施結果(成果)】

### 【コンサート奏 NEXT】

開催日:2022年10月22日 時間:13:30~15:30 会場:川崎授産学園・体育館

参加人数:約150名(出演者、来場者) チラシ発行部数:2,000部 プログラム発行部数:200部

【ドキュメンタリー動画:「持続的なパラアート地域交流を目指して～コンサート奏 NEXT から得たこと～」】

(内容)

- ・第1部(動画):「音楽(アート)による地域交流」から「地域交流による音楽(アート)」へ
- ・第2部(動画):コンサート奏 NEXT ダイジェスト&参加者からのメッセージ
- ・パンフレット(紙及びPDF):紙1,900部、PDFは奏ホームページからダウンロード可能

<https://www.kanade.art/paranext>

(配布・配信)

・配布:パラアート地域交流を実施可能な障がい者支援施設(20カ所)に各50部、残りは都度配布する

・配信:奏ホームページのコーナー( <http://www.kanade.art/paranext> )に公開

Facebookの「ふらっと・・・」グループ(新百合ヶ丘、武蔵小杉など計約60,000人)に概要とHPのURLをご紹介します

## 【実際の効果と課題】

### 【効果】

- ・多くの地域の方に関心を持ってくださり、アンケートからも地域交流の必要性の望む声を伺うことが出来た。
- ・コロナ禍で生活環境が一変し、今回のコンサート奏 NEXT を最後に、離れるメンバーも少なからず出たが、それが教訓となり、今後の持続的なパラアート地域交流の活動指針で新たな体制で臨むことになり、他への波及効果も高いと期待できる。

### 【コンサート奏 NEXT アンケートより抜粋】

♪いろいろな楽器の演奏が聴けて楽しかったです。しばらく聴けなくなるのはとても残念に思います。数年後又、この場所での開催を楽しみにしております。本日は楽しかったです、ありがとうございました。

♪とても楽しい時間を過ごさせていただきました。健常者も障害をお持ちの方もプロも地域の人も一緒になって演奏する姿に感銘を覚えました。

♪地域共生社会の実現に向けて進んでいくことを望みます。障害者と高齢者と地域で支えていくことが今後益々必要になってきます。

### 【課題】

コンサート奏 NEXT 開催日前日に、コロナ感染の影響で川崎授産学園の利用者メンバーが参加不可となり、演奏参加、動画撮影の役割ができなくなったことで、来年度からの早々の再開が望まれます。

しかし、これまで事業者(川崎授産学園、弊団)主導による音楽活動の結果としての地域交流を図ってきたため、それが(コロナ禍で)長く中断されると、(音楽ができないことで)地域の皆さんが離れてしまうことが分かったため、今後は地域交流ありきでの音楽(アート)活動を地域の皆さんと共に企画推進していく体制構築が持続発展的活動のカギを握ると考えます。

既に、「奏」は、3月にその体制での会合を開催することになりました。また、コロナが完全に落ち着いた暁には、これまで展開をしてきた重度の障害を持つメンバーがいる「響」(w/ソレイユ川崎)、「遊」(w/療育ねっとわーく川崎)についてもこの体制での打診を図っていく予定です。